

標 題 : CORonary Diet Intervention with Olive Olive oil and cardiovascular PREVention study (the CORDIOPREV study): Rationale, methods, and Baseline characteristics: A clinical trial comparing the efficacy of a Mediterranean diet rich in olive oil versus a low-fat diet on cardiovascular disease in coronary patients.

オリーブ油による冠状動脈食事介入と心臓血管系予防研究(CORDIOPREV 研究) : 論理的根拠、方法、および開始時の特徴 : オリーブ油が豊富な地中海食事と低脂肪食事の心臓血管系疾患に対する有効性を冠状動脈患者で比較する臨床試験

著 者 : J. Delgado-Lista, et al. (スペイン IMIBIC/Hospital Universitario Reina Sofia/コルドバ大学 脂質・アテローム性動脈硬化部)

掲 載 誌 : Am. Heart J. 2016 Jul; 177: 42-50

要 旨 :

冠状動脈性心疾患(CHD)は世界的に大きな健康負担を意味する。

しかし、食事習慣がこの疾患の進行に対して発揮する良く知られた影響にもかかわらず、二次予防で臨床転帰の発症を予防するための良く確立されて科学的に正しい食事法はない。

オリーブ油による冠状動脈食事介入と心臓血管系予防研究(CORDIOPREV 研究、臨床試験番号NCT00924937)の目的は、開始時に確認された CHD がある被験者で7年後の心臓血管系事象の複合発症率に影響するバージョンオリーブ油が豊富な地中海食事の能力を低脂肪食事と比較することである。

この目的で我々は、スペインから1,002人の冠状動脈患者を登録した。

開始時の評価(2009-2012)には、詳細な面接および食事、社会的、および生物学的な変数を評価するための測定が含まれた。

開始時の特徴の結果 : スペインにおける CORDIOPREV 研究は、高い BMI (37.2%が過体重で 56.3%は肥満)および LDL コレステロールの中央値が 88.5mg/dL(患者の 70.6%が<100mg/dL で 20.3%は<70mg/dL)の集団を示す。

参加者合計の 9.6%が現在の喫煙者で、64.4%が喫煙経験者であった。

メタボリックシンドロームがこの集団の 58%に存在した。

要約すると、CORDIOPREV 研究の論理的根拠、方法、および開始時の特徴を我々はここで説明し、それは CHD 再発の発症率に対するエクストラバージョンオリーブ油が豊富な地中海食事の有効性を長期間の追跡研究で低脂肪食事と比較して最初に試験する予定である。

著作権 © 2016 年 Elsevier 社 著作権所有